

平成 18 年 10 月 25 日

各 位

新日鉱グループ
日鉱金属株式会社

磯原工場における薄膜材料の生産能力増強について

1. 日鉱金属株式会社（本店：東京都港区虎ノ門二丁目 社長：岡田昌徳）は、このたび、当社磯原工場（茨城県北茨城市）を中心に約 100 億円を投じ、半導体、ハードディスクおよびフラットパネル・ディスプレイ（以下「FPD」）に使用される薄膜材料（以下「ターゲット」）の生産能力を増強することといたしました。
2. 現在、半導体はパーソナルコンピュータ、携帯電話に加えて、デジタル家電、自動車等への使用拡大、ハードディスクについてはパーソナルコンピュータ向けに加え、ハードディスクレコーダー等の Non-PC 向け需要の増加、FPD については、液晶・プラズマ等大画面薄型テレビの本格普及により、それぞれ需要が急増しています。
3. 当社としては、今般の生産能力の増強により、こうした拡大基調にある各種ターゲット市場において更なるシェアアップを図るとともに、安定供給体制を堅持しファーストベンダーとしての供給責任を果たしてまいります。
4. 生産能力増強の具体的な内容は以下のとおりであります。

(1) 半導体用ターゲット

投資内容	300mm 品を中心とした増産対応、及び Cu、Co、W 等のターゲットの増産対応 建屋の新規建設
稼動時期	平成 19 年 4 月以降順次稼動（平成 21 年 3 月完成）
投資額	約 60 億円
投資効果	300mm 品を中心に現行の生産能力を現行の 1.5 倍に増強する。
その他	米国チャンドラー工場（アリゾナ州）に 3 億円を投じ、機械加工および検査の能力を約 3 割増強する。

(2) ハードディスク向け等の磁気記録媒体用ターゲット

- 投資内容 白金系磁性材の生産能力の増強
新規垂直磁気記録用白金系磁性材の量産体制の確立
建屋の新規建設
- 稼働時期 平成 19 年 10 月
- 投資額 約 17 億円
- 投資効果 白金系磁性材の生産能力を約 50%アップさせる。
新規垂直磁気記録用白金系磁性材の量産体制を確立させる。
- その他 新規建設建屋には次段階の増強余地も確保する。

(3) FPD 用ターゲット

- 投資内容 FPD 用の ITO ターゲット生産の能力増強
- 稼働時期 平成 18 年 11 月以降順次稼働（平成 19 年 5 月完成）
- 投資額 約 12 億円
- 投資効果 ITO ターゲット焼結工程までの能力を約 25%アップさせる
- その他 桃園工場（台湾）、平澤工場（韓国）に約 3 億円を投じ、同ターゲットの生産能力を増強する。

以上

【お問合せ先】

日鉱金属株式会社

総務部総務担当 河田、榑崎(TEL:03-5573-7223)